

## 修正箇所一覧

	修 正 前	修 正 後
1	P2 図表 本計画の位置づけ 本庄市障害者計画・本庄市障害（児）福祉計画	P2 図表 本計画の位置づけ 本庄市障害者計画・本庄市障害福祉計画・本庄市障害児福祉計画
2	P45 （１）２段落目 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」	P46 脚注を追加 要介護認定を受けていない市民を対象にしたアンケート。詳細は第２章第４節に記載されている。
3	P50 （１） 成果指標と目標値 「サポーター養成講座受講者数」	P51 脚注を追加 介護予防サポーター、生活支援サポーター、認知症サポーターの各養成講座受講者数の合計
4	P51 （１） 主な取組 ③サポーター養成講座の開催 事業内容 地域において活躍するボランティアリーダー（介護予防（はにぼん筋力トレーニング）、生活支援、認知症サポーター）の養成を促進し、地域での自主活動を促進します。	P52 （１） 主な取組 ③サポーター養成講座の開催 事業内容 地域において活躍する介護予防サポーター（はにぼん筋力トレーニング）、生活支援サポーター、認知症サポーターの養成を促進し、地域での自主活動を促進します。
5	P57 （３）下から３行目 社会福祉協議会及び法人後見に携わるNPO法人などとも連携して、成年後見制度の利用の促進を図ります。	P58 （３）下から３行目 社会福祉協議会やNPO法人、関係機関と連携し、成年後見制度の利用促進を図ります。
6	P58 （３） 主な取組 ⑧権利擁護が必要な高齢者の把握 事業内容 下から２行目 総合相談業務との連携など	P59 （３） 主な取組 ⑧権利擁護が必要な高齢者の把握 事業内容 下から２行目 福祉の総合相談窓口との連携など
7	P68 （１）下から５行目 特定施設入居者生活介護（地域密着型を含む。以下「特定施設」という。）の指定を受けていない有料老人ホームが増加することにより、それに伴う市外の入居者の増加が住民サービスに影響を及ぼす可能性があるため、本庄市の住民が優先して入居できるよう、施設に求めていくとともに、特定施設の指定を受ける有料老人ホームまたはサービス付き高齢者向け住宅への移行を促します。	P69 （１）下から５行目 特定施設入居者生活介護（地域密着型を含む。以下「特定施設」という。）の指定を受けていない有料老人ホームが増加することにより、それに伴う市外の入居者の増加が住民サービスに影響を及ぼす可能性があります。本庄市の住民が優先して入居できるよう、施設に求めていくとともに、現在指定を受けていない施設には介護保険上の特定施設への移行を促します。
8	P74 （２）下から３行目 リハビリテーションサービス利用率が低い状況	P18 「3. リハビリテーションサービスの利用状況」を追加
9	P76 （３） 主な取組 ④福祉総合相談窓口（福祉の困りごと相談窓口） 事業内容 市民の様々な悩みや不安を受け止める窓口を設置し、	P77 （３） 主な取組 ④福祉総合相談窓口（福祉の困りごと相談窓口） 事業内容 市民の様々な悩みや不安を受け止め、
10	P78 （５） 成果指標と目標値 指標名 入門的研修参加者数	P79 （５） 成果指標と目標値 指標名 介護に関する入門的研修修了者数 現状値 34 令和６年度 35 令和７年度 35 令和８年度 35
11	P64 （３） 主な取組 ②要介護者紙おむつサービス事業 事業内容 要介護４または５に認定されている在宅の要介護者で失禁の状態にある人を対象に紙おむつなどと支給しています。今後も家族介護者に対する支援として継続します。	P65 （３） 主な取組 ②要介護者紙おむつサービス事業 事業内容 要介護４または５に認定されている在宅の要介護者で失禁の状態にある人を対象に紙おむつなどを支給しています。今回、国の方針では、市町村特別給付等への移行を含めた事業の廃止・縮小に向けた取組を着実に実行することとされています。この方針を踏まえつつ、市町村特別給付等への移行を含め、事業の継続に向けて検討していきます。